2.2.1 サイコロで連立方程式

生徒の力で連立方程式の加減法を見つけることは困難なんでしょうか? 生徒の実態にもよりますが、サイコロの目をテーマに以下のような教材はどうでしょう。

指導内容	学 習 活 動	備考
サイコロの 目の和と差	・サイコロの目をいいあてるゲームをしましょう。	・持ち物 サイコロ
	・サイコロの出た目の和が7で差が3でした。 出た目は何と何だったのでしょうか?	・求め方を説明でき るようにノートに まとめる。
	小さな目 1 2 3 大きな目 6 5 4	
	・もっと簡単に求めることはできないだろうか? $(7+3) \div 2 = 5$ $(7-3) \div 2 = 2$	
	・どうしてサイコロの和と差をたして2で割ると大きな目が,ひいて2で割ると小さな目が出てくるのだろう?	
	x + y = 7 $x - y = 3$	・文字を使用しない 説明でも可。
加減法の意味	・2 つの 2 元 1 次方程式の左辺どうし,右辺ど うしを加えたり,ひいたりして 1 次方程式を 作る方法を加減法といいます。	
練習問題	・練習をやってみよう。・以下のようなサイコロの目が出たとき2つの目を加減法で求めなさい。(1) 和が8,差が2	
	(2) 和が 9, 差が 3	

ある研究会の授業を見に行ったときです。縦 $16~\rm cm$, 横 $34~\rm cm$ の長方形の台紙と縦横の長さがわからない付箋紙を使って連立方程式の導入の授業を行っていました。付箋の縦が $3~\rm k$, 横が $1~\rm k$ 枚で $16~\rm cm$ ぴったり,付箋の縦が $2~\rm k$, 横が $4~\rm k$ 枚で $34~\rm cm$ ぴったり,付箋の縦が $9~\rm k$, 横が $1~\rm k$ で $34~\rm cm$ ぴったり,このことから付箋紙の縦と横の長さを求める授業でした。いい授業でした。しかし付箋紙が市販のものでなく,準備が大変そうでした。研究授業としては良かったのですが,普段の授業でそれだけのものをそろえるのは大変だなって感じました。どなたか市販品の付箋紙でできないか研究してください。